



福井の希望を考える ～第2回希望学フォーラム～



平成21年度から、福井県と東京大学社会科学研究所では、福井県を調査地として「希望学福井調査」を実施することとしました。

この希望学福井調査とは何か、福井で何が始まろうとしているのか、また、何が解明されようとしているのかをこのフォーラムで紹介します。

みなさんもこのプロジェクトに参加して、福井の魅力や希望を一緒に考えてみませんか。

★希望学・・・東京大学社会科学研究所で2005年から始められた新しいプロジェクトです。希望とは何か、どのような社会に希望は生まれるのかなどを、地域でインタビューを行う希望学調査等を通して、研究する学問です。

日時・場所

平成21年7月23日（木）15：00～16：45

福井県国際交流会館 多目的ホール
（福井市宝永3丁目1-1）

参加無料 定員150名（申込み順）



プログラム

はじめに 「希望と新しいふるさと」
（福井県知事 西川一誠）

希望学プロジェクト紹介
（東京大学社会科学研究所 玄田有史教授）

希望を語る

（東京大学社会科学研究所：宇野重規准教授、一橋大学大学院商学研究科：橘川武郎教授、
東京大学社会科学研究所：玄田有史教授、東京大学社会科学研究所：中村尚史准教授）



主 催 福井県・東京大学社会科学研究所
協 賛 財団法人 東京大学出版会



宇野重規〔東京大学社会科学研究所准教授〕

地方自治の重要性を唱えたトクヴィルを中心にフランス政治思想史を研究。現在は、平等・地域・希望の問題に取り組んでいる。



橘川武郎〔一橋大学大学院商学研究科教授〕

東大社研教授を経て、2007年4月から現職。専門は、経営史、電力産業論、地域経済論。「地域からの経済再生と雇用創出」と題して、全国各地で講演活動を展開中。福井県でも2度講演。阪神ファンであるため、今年は元気がない。



玄田有史〔東京大学社会科学研究所教授〕

専門の経済学と同時に、2005年から希望学を研究中。希望はどのようにして生まれるかを、福井の皆さんと一緒に考えるのを楽しみにしている。



中村尚史〔東京大学社会科学研究所准教授〕

専門は日本経済史・経営史。とくに明治期の鉄道史や地域経済史を研究してきた。最近、地方の経済活性化に大いに関心あり。現在、「地方の活力」に関する本を執筆中。

○参加申し込み方法

以下の参加申込表に必要事項を記載の上、平成21年7月21日（火）までにFAX、またはメールにてお申し込みください。

団体名（個人の方は記入不要）	
参加者名	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

○参加申込先・お問い合わせ先

福井県総合政策部政策推進課

TEL 0776-20-0226

FAX 0776-20-0623

E-mail seisaku@pref.fukui.lg.jp